

4 調査・研究

1 刊行図録

令和2年(2020年)度に、『鏗木清方と昭和期の美人画(仮題)』を刊行予定。そのための資料調査、資料収集とデータ作成、編集業務を行った。

2 デジタルアーカイブ

当館ウェブサイト内にデジタルアーカイブ「収蔵品データベース」を設置。令和2年(2020)3月に、収蔵する作品の画像と情報、解説を公開した。(<http://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/collection/>)
公開した作品数は115点。その内77点の解説には英訳をつけた。
引き続き、当館所蔵の下絵や資料等についても公開を進める予定。

「収蔵品データベース」のトップページ

鎌倉市 鏗木清方記念美術館 Japanese English French Others アクセス お問い合わせ

ご利用案内 美術館について 展覧会 イベント 学ぶ・体験する 鎌倉と日本画 出版物 ミュージアムショップ 収蔵品データベース

収蔵品データベース

鎌倉市鏗木清方記念美術館では、所蔵している作品・資料をデジタルアーカイブ化して随時公開しています。「種類ごと」「制作年代ごと」「作者ごと」を入口にして見ることができます。

種類ごとに見る
コレクションを、「本画」「下絵」「スケッチ」「挿絵(口絵)」「資料」に分けています。

種類

- 本画 Japanese Painting
- 下絵 Preparatory Drawing
- スケッチ Sketch
- 挿絵 Illustration
- 資料 Others

制作年代

- 制作年不詳
- 明治以前
- 明治
- 大正
- 昭和(戦前～戦中)
- 昭和(戦後)

「収蔵品データベース」各作品ページの例

早春

そうはる

作品を拡大する

大正7年(1918)
紙本着色・絹画(二屏一巻)
169.7 x 189.2cm
香林軒藏 3200画

香林軒は大正7年(1918)に創設された日本画研究団体で、這木中、志川豊庵、松橋金明、平賀正徳、松浦俊成が参加しました。日本画の伝統を継承し、新たな日本画の創造を目指して香林軒の活動は、活発な制作にも大きな寄与をなしました。
この展覧会では、ジャンルを越え、本館所蔵の「下絵、草稿のスケッチや挿絵など」の芸術的価値が、資料として改めて見直しを促すよう取り入れられています。また、展示を機として資料を整理し、デジタルアーカイブ化と併行して公開の機会を設けると、展示や学びにおいても案内に繋がるような取り組みを進めています。

Shohun (Early Spring) (1918)
Color on silk; two hanging screens
169.7 x 189.2 cm
First exhibited at the 3rd Niinotsuka Exhibition!
In 1918, Kiyokata, Kikkawa Rokka, Yohi Somel, Hirafuku Hyakusai, and Matsuoaka Ekiyo set up the Kiyokata as an organization for the study of Nihonga (Japanese style painting). Seeking a new understanding of the Nihonga tradition and aiming to create a new style of Nihonga, Kiyokata's activities influenced Kiyokata's creative development in significant ways.
This painting incorporates some dress customs of the time: the shawl, the hair arranged in a chignon at the back of the head, the coat with its leaf patterns, and the modern hair ornament decorated with a silver. The pale glow produced by the application of unshaku gold foil to the back of the canvas, the violet shawl balanced against the yellow clusters of violets, and other uses of color and technique suggest that Kiyokata considered the effect the painting would have

種類

- 本画 Japanese Painting
- 下絵 Preparatory Drawing
- スケッチ Sketch
- 挿絵 Illustration
- 資料 Others

制作年代

- 制作年不詳
- 明治以前
- 明治
- 大正
- 昭和(戦前～戦中)
- 昭和(戦後)

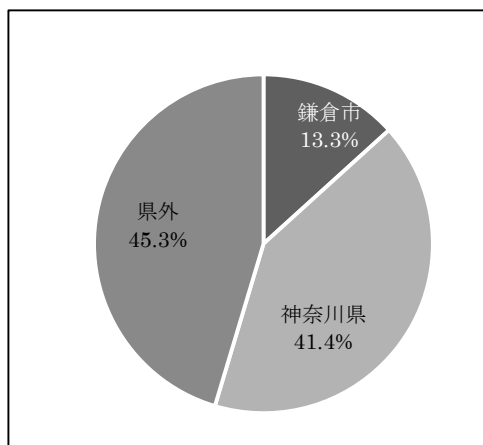
作者

- 高村 英行
アンリ・マティスマン Henry Ossun
ガウディ
- 鏗木清方
- 高村 英行
現代杉村春彦
- 高村 英行
鏗木清方
- 高村 英行
鏗木清方

3 アンケート概要

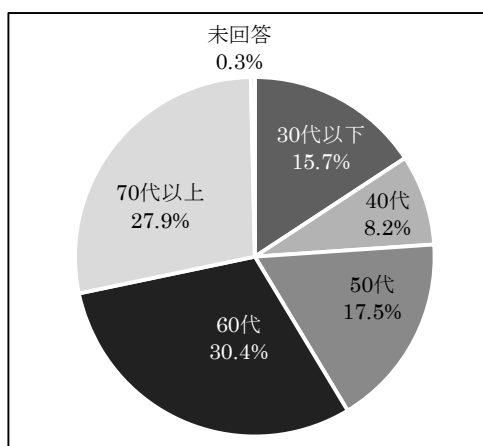
美術館運営の参考として、入館者の利用意向を把握する目的からアンケート調査を実施している。ここでは、特別展と企画展の各1回を対象に実施アンケートの結果をまとめる。

(1) 居住地域



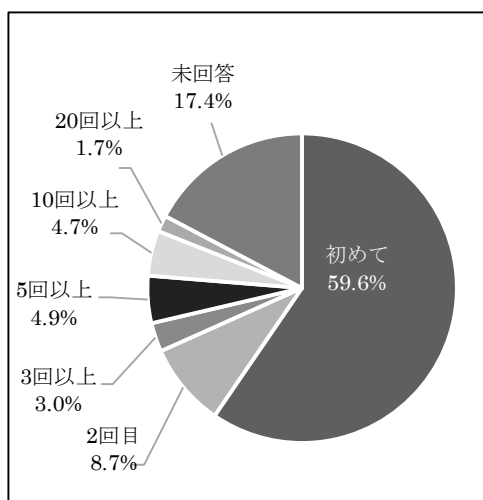
鎌倉市内を含む神奈川県内の居住者で全体の半数以上を占める。県外からの来館者の内訳では、東京都居住者が約38%と最も多く、埼玉県、千葉県、千葉県の居住者がそれぞれ約10%と続く。1都1道2府33県からの来館があった。また、海外は台湾とスイスからの来館があった。

(2) 年齢



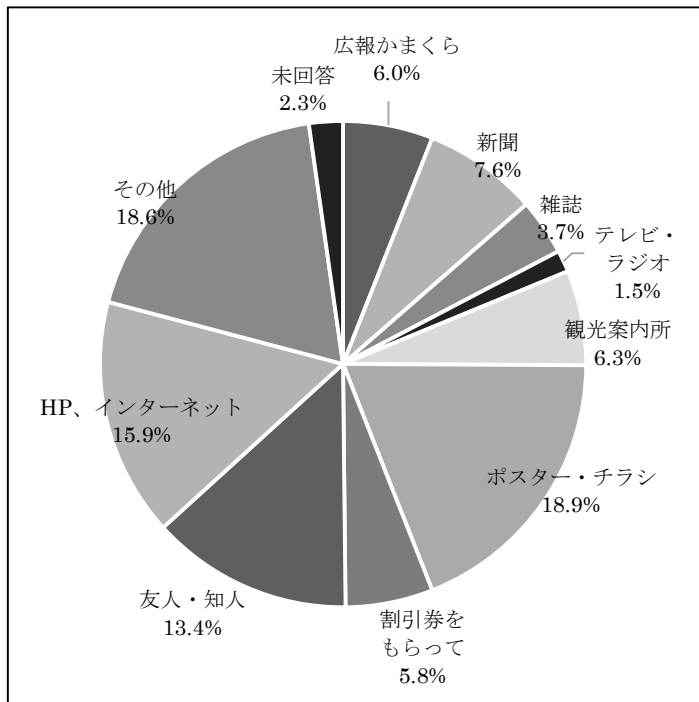
50代～70代が7割以上を占めている。この年齢分布は、平成29、30年度の集計時とほとんど変わっていない。

(3) 来館回数



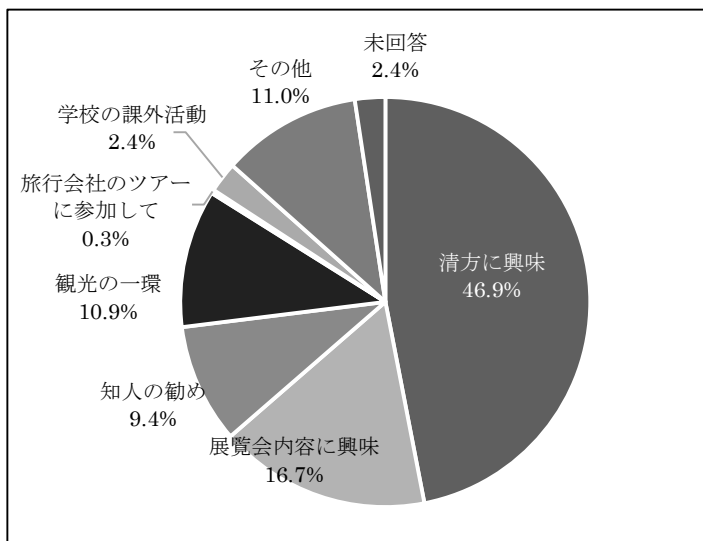
初めて来館した人が約6割を占める。複数回来館の回数の分布は未回答が約半数を占めるが、3回以上の来館者の比率は平成29、30年度の集計よりも約3%増加した。

(4) 情報入手元



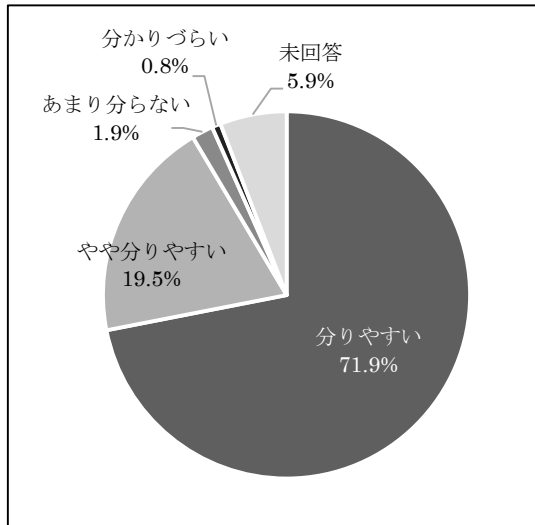
平成 29、30 年度の集計結果とほとんど変わらないが、新聞への広告掲載を実施したため、新聞からの情報入手が 3%増加した。「その他」の内容：他の施設で(他美術館・博物館等)、散策・観光の途中で、ガイドブックで、学校で、以前来たことがある、など。

(5) 来館理由



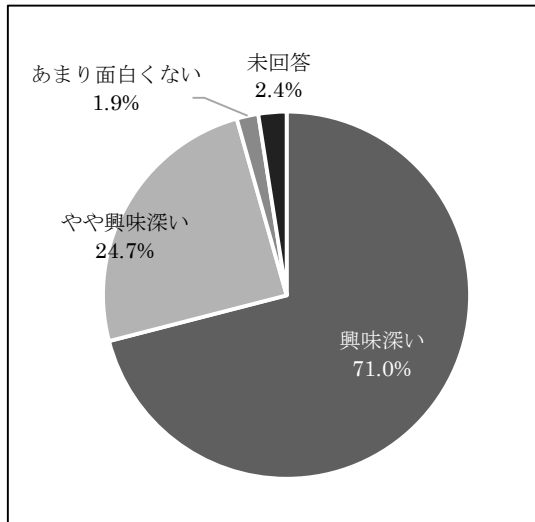
清方に興味を持った来館者が約半数を占め、平成 29、30 年の集計とほとんど変わらない。「その他」の内容：散策・観光の途中で見つけた、イベントに参加して、あじさいに惹かれて、など。

(6) キャプションの内容



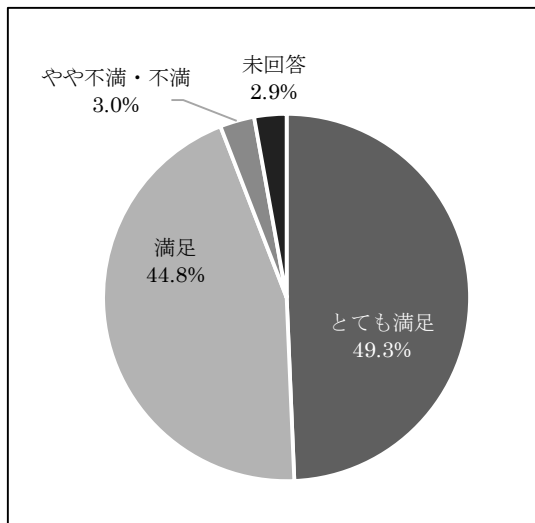
平成 30 年度から新たに設問。
分かりやすい、やや分かりやすいが 9 割以上を占めた。
「時代背景が分かりやすい」や「子ども向けの解説が良い」などの意見があった。

(7) 展覧会評価



興味深い、やや興味深いが 9 割以上を占め、つまらないという回答は無かった。
特に美人画作品のほか、季節感のある作品やスケッチなどが興味深いとの意見があった。

(8) 満足度



とても満足、満足が 9 割以上を占めた。
展示内容のほか、静かで清潔な館内、学芸員の展示解説などが評価された。

5 広報・宣伝

- 電柱広告掲出
- フリー鎌倉観光ガイド広告掲出
- フリー鎌倉英語ガイド広告掲出
- 江ノ電「藤沢駅」「長谷駅」展覧会ポスター掲出

この他、ホームページ上での情報提供を随時行い、鎌倉市発行の「広報かまくら」をはじめ新聞や雑誌、観光情報ポータルサイト等への展示事業及び普及事業についての情報提供を行っている。また、ご協力いただける近隣の店舗・事業所等に、展覧会ごとのポスター・チラシの掲示及び割引券の設置を依頼している。

	R1 年度
新聞等への情報掲載	214
来館取材対応	5

6 共催・連携

「鎌倉小町通り・八幡宮エリア 鎌倉ミュージアムめぐり」

会場：鎌倉市鐫木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館、鎌倉国宝館、鎌倉歴史文化交流館、神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

【スタンプラリー】

前期：平成 31 年 4 月 6 日（土）～令和元年 10 月 5 日（土）

後期：令和元年 10 月 12 日（土）～令和 2 年 3 月 21 日（土）

【トークイベント】「リニューアル ～RENEWAL～」

日付：令和元年 10 月 5 日（土）

会場：鎌倉歴史文化交流館

協力：鎌倉アート&カルチャーMAP

「鎌倉の紫陽花と美術館を巡ろう」

会場：鎌倉市鐫木清方記念美術館

日付：令和元年 6 月 5 日（水）、8 日（土）、14 日（金）、15 日（土）

※6 月 15 日は荒天の為、中止。

協力：NPO アートとつながる鎌倉

「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」

会場：鎌倉市鐫木清方記念美術館

日付：令和元年 7 月 31 日（水）

協力：NPO アートとつながる鎌倉

「ミュージアムからミュージアムへ 鎌倉美活ウォーク」

会場：鎌倉市鐫木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館、北鎌倉 葉祥明美術館

日付：令和元年 12 月 1 日（日）

「日本画の美術館を巡ろう！ 鐫木清方と山口蓬春」

会場：鎌倉市鐫木清方記念美術館、山口蓬春記念館

【相互割引・ミュージアムグッズプレゼント・ワークシート配布】

期間：令和 2 年 1 月 4 日（土）～2 月 29 日（土）

※2月28日から新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市の指示により臨時休館したため、2月28日、29日は実施せず。

「泉鏡花没後80年 関連事業」

- ① 有隣堂テラスモール湘南店「泉鏡花フェア」
会場:有隣堂テラスモール湘南店
期間:令和元年6月28日(金)～7月11日(木)、8月16日(金)～8月29日(木)
主催:松竹株式会社、泉鏡花記念館、鎌倉市鐮木清方記念美術館
- ② 特別講義「泉鏡花の小説世界の広がり ～挿絵・日本画・演劇とシネマ歌舞伎～」
会場:相模原女子大学
日付:6月29日(土)
主催:松竹株式会社、相模原女子大学
- ③ 109シネマズ上映 シネマ歌舞伎「天守物語」「日本橋」半券割引
会場:鎌倉市鐮木清方記念美術館
期間:令和元年7月5日(金)～12月1日(日)
主催:鎌倉市鐮木清方記念美術館
- ④ 「一没後80年一 鏡花の文と絵」
会場:朝日カルチャーセンター 湘南教室
日付:令和元年7月27日(土)
主催:松竹株式会社、朝日カルチャーセンター
- ⑤ 「シネマ歌舞伎グランドシネマ「日本橋」トークイベント」
会場:東劇
日付:令和元年8月25日(日)
主催:松竹株式会社
- ⑥ シネマ歌舞伎グランドシネマ「日本橋」ミュージアムグッズ販売
会場:東劇
日付:令和元年7月5日(金)～8月29日(木)
主催:松竹株式会社
- ⑦ トークセッション「鏡花をオクル 一没後80年一」
会場:金沢市文化ホール
日付:令和元年9月23日(月・祝)
主催:泉鏡花記念館
- ⑧ 川喜多映画記念館「泉鏡花没後80年 明治・大正文藝シネマ浪漫」相互割引
会場:鎌倉市鐮木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館
期間:令和元年10月26日(土)～12月1日(日)
主催:鎌倉市鐮木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館
- ⑨ 「ギャラリートークツアー」
会場:鎌倉市鐮木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館
日付:令和元年10月27日(日)、11月30日(土)
主催:鎌倉市鐮木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館

⑩ 「『星あかり』朗読と妙長寺見学ツアー」

会場:旧和辻邸、妙長寺

日付:令和元年11月4日(月・振)

主催:鎌倉市鐮木清方記念美術館、鎌倉市川喜多映画記念館

7 企画協力

「鐮木清方 清くあれ、潔くあれ、うるはしくあれ」

会場:名都美術館 会期:令和元年10月11日～12月15日

【協力内容】監修、展示、広報、物販

【出品作品】

寺子屋画帖、暮れゆく沼、孤児院、秋宵、金色夜叉の絵看板、教誨、嫁ぐ人、曲亭馬琴、早春、ためさるゝ日(右幅)、夏の生活、水汲、游心庵漫筆、金沢絵日記、襟おしろい、朝涼、大和路の或る家、桜もみぢ、にごりえ、慶喜恭順、朝夕安居、先師の面影、大蘇芳年、女役者糸八、江見水蔭著『大暗礁 前編』木版口絵、広津柳浪著『仇と仇 前編』木版口絵、柳川春葉著『浮沈』木版口絵、白鳥『文藝倶楽部』木版口絵(下絵、校合摺、色分(2点)、校正摺)、鸚鵡『文藝倶楽部』木版口絵(下絵、校合摺(2点)、差上げ、校正摺)、虎ノ門 見立十二姿の内『新小説』石板口絵、雛壇の下『文藝倶楽部』石板口絵、菊池幽芳著『小ゆき(前編、後編、続編)』木版口絵、『苦楽』(昭和21年創刊号、昭和21年12月号、昭和22年1月号、昭和23年4、12月号、昭和24年1、4、5、7月号、5月臨時増刊号)、歌川広重『草筆画譜』(2点)、『江戸名所図会』、清方遺愛品(湯呑、硯、墨、置物(鳥)、水滴、文鎮(陶製)、原稿用紙(10枚)、虫眼鏡、ひじつき、万年筆、鉛筆、眼鏡、朱肉入)

【講師派遣】

オープニングギャラリートーク

会場:名都美術館

日付:令和元年10月11日